

2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月9日

上場会社名 アールピバン株式会社

上場取引所 東

コード番号 7523 URL http://www.artvivant.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 執行役員 (氏名) 野澤 克巳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画室長 (氏名) 樋口 弘司

TEL 03-5783-7171

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	8,396	2.5	2,166	16.2	2,410	28.6	1,568	11.0
2023年3月期第3四半期	8,191	5.5	1,865	1.5	1,874	4.4	1,413	15.9

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,673百万円 (55.8%) 2023年3月期第3四半期 1,074百万円 (14.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	144.67	
2023年3月期第3四半期	129.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	34,507	16,284	47.2	1,522.30
2023年3月期	32,918	15,394	46.8	1,405.48

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 16,284百万円 2023年3月期 15,394百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		15.00		15.00	30.00
2024年3月期(予想)		30.00			
				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

2023年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭

2024年3月期中間配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 記念配当15円00銭 合計30円00銭

2024年3月期期末配当金(1株当たり配当金)の内訳: 普通配当15円00銭 記念配当15円00銭 合計30円00銭

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	2.6	2,250	0.1	2,120	0.9	1,200	11.4	109.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	12,963,816 株	2023年3月期	12,963,816 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,266,247 株	2023年3月期	2,010,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	10,842,450 株	2023年3月期3Q	10,931,926 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧米を中心とする海外経済の減速、円安や資源高により製造業の減収懸念、実質賃金のマイナスでの推移など物価高の影響があるものの、インバウンド需要や個人消費の回復などコロナ禍からの回復により経済活動の正常化が進み、総じて、景気は緩やかに持ち直しが見られております。

このような状況の下、当社グループでは、2023年4月度よりスタートした第40期は、創業40周年という節目を迎え、主力の「アート関連事業」を中心に、成長スピードを加速させるよう、一段と事業運営に注力いたしました。更に中長期的な視点に基づき、人材、組織など経営基盤固めを実践するとともに、新規顧客の開拓及び過去に捉われない新たな収益基盤の創造にチャレンジしてまいりました。

基幹の「アート関連事業」におきましては、多くのお客様に催事会場にお越しただいており、「絵のある豊かな生活(くらし)」によって、一人でも多くのお客様に夢や希望を感じていただけるよう積極的な営業展開を行ってまいりました。

「健康産業事業」では、フィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」は業績の回復が見込まれなかったことから、本年12月をもって閉店いたしました。ホットヨガ事業におきましては、2020年4月、5月の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による店舗休業において休会・退会会員が多く発生し、その後、徐々に回復はしてきているものの、依然として、会員数確保の厳しい状況は続いております。今後とも、新規会員の獲得・退会防止を行い、地域の皆様の「心と身体の健康」に寄与してまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高8,396百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益2,166百万円(同16.2%増)、経常利益2,410百万円(同28.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,568百万円(同11.0%増)となりました。

事業の種類別セグメント業績は、次のとおりであります。

◆アート関連事業

当社グループの主力事業である絵画等販売事業におきましては、従来に引き続き、新規顧客獲得に主眼をおいた営業活動に注力し、新規顧客の獲得及び取扱アーティストのブランド化や新作家開発に努め、版画の売上拡大につなげてまいりました。

この結果、売上高は6,169百万円(同3.9%増)、営業利益は1,338百万円(同30.4%増)となりました。

◆金融サービス事業

金融サービス事業におきましては、従来に引き続き、当社及びその他一般加盟店の顧客に対する個別信用購入あっせん事業(以下、クレジット事業といいます)を中心に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は1,228百万円(同3.0%増)となり、営業利益は860百万円(同5.7%増)となりました。

◆健康産業事業

ホットヨガ事業・フィットネス事業におきましては、2020年4月、5月において緊急事態宣言等の影響により、休会会員が多く発生し、徐々に回復はしてきておりますが、依然として、会員数減少の厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は1,019百万円(同5.2%減)となり、営業損失は70百万円(前年同四半期は13百万円の営業損失)となりました。

(注) フィットネス事業

フィットネス事業の「カルナ フィットネス&スパ 柏」は、業績の回復が見込まれなかったことから、本年12月をもって閉店し、フィットネス事業は終了いたしました。閉店による損失等はおおむね計上済みであり、業績への影響は軽微であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は28,480百万円となり、前連結会計年度末に比べ537百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券や高額美術品の購入等により現金及び預金が1,938百万円減少したものの、高額美術品の購入による前渡金の増加等によりその他流動資産が1,177百万円、高額美術品の購入により商品及び製品が943百万円、クレジット事業の取扱高の増加により売掛金が362百万円増加したことによるものであります。固定資産は6,026百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,051百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1,154百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は34,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,588百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は17,122百万円となり、前連結会計年度末に比べ825百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が545百万円、絵画等販売事業の契約高の増加により前受金が143百万円、その他流動負債が227百万円増加したことによるものであります。固定負債は1,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が106百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は18,222百万円となり、前連結会計年度末に比べ698百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は16,284百万円となり、前連結会計年度末に比べ890百万円増加いたしました。これは主に自己株式の取得331百万円、剰余金の配当により利益剰余金が485百万円の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が1,568百万円あったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は47.2%（前連結会計年度末は46.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想の概要の説明は、2023年9月25日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,480,136	3,542,089
売掛金	15,462,884	15,825,814
商品及び製品	5,705,212	6,649,089
仕掛品	13,106	15,140
原材料及び貯蔵品	70,645	110,320
前払費用	215,680	204,313
その他	1,067,273	2,244,394
貸倒引当金	△71,603	△110,640
流動資産合計	27,943,335	28,480,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,336,818	1,391,873
減価償却累計額	△1,014,746	△1,084,160
建物及び構築物(純額)	322,072	307,713
土地	237,367	237,367
リース資産	107,778	69,388
減価償却累計額	△80,437	△55,106
リース資産(純額)	27,341	14,282
建設仮勘定	15,345	—
その他	414,102	412,704
減価償却累計額	△332,256	△351,050
その他(純額)	81,846	61,654
有形固定資産合計	683,973	621,017
無形固定資産		
その他	36,570	82,262
無形固定資産合計	36,570	82,262
投資その他の資産		
投資有価証券	2,299,045	3,453,739
長期貸付金	392,000	282,000
敷金及び保証金	230,188	218,494
繰延税金資産	320,916	318,063
退職給付に係る資産	19,020	20,015
その他	1,135,515	1,167,040
貸倒引当金	△142,417	△136,147
投資その他の資産合計	4,254,268	5,323,205
固定資産合計	4,974,812	6,026,484
資産合計	32,918,148	34,507,007

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	409,838	333,675
短期借入金	8,215,773	8,761,628
1年内返済予定の長期借入金	687,228	726,872
リース債務	17,723	14,445
未払法人税等	532,314	428,083
前受金	2,451,084	2,594,113
割賦利益繰延	2,719,425	2,794,893
賞与引当金	54,084	28,479
資産除去債務	350,000	352,938
その他	859,717	1,087,077
流動負債合計	16,297,190	17,122,207
固定負債		
長期借入金	1,020,046	913,865
リース債務	14,807	4,226
退職給付に係る負債	134,653	131,539
繰延税金負債	42,373	45,413
その他	14,568	4,848
固定負債合計	1,226,450	1,099,893
負債合計	17,523,640	18,222,101
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,826,649	1,843,317
資本剰余金	5,102,494	5,098,196
利益剰余金	9,573,532	10,656,938
自己株式	△1,160,079	△1,470,798
株主資本合計	15,342,596	16,127,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,778	140,381
退職給付に係る調整累計額	16,132	16,870
その他の包括利益累計額合計	51,911	157,252
純資産合計	15,394,508	16,284,906
負債純資産合計	32,918,148	34,507,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,191,703	8,396,660
売上原価	2,740,344	2,677,639
売上総利益	5,451,358	5,719,021
販売費及び一般管理費	3,586,106	3,552,386
営業利益	1,865,252	2,166,634
営業外収益		
受取利息	6,439	4,394
有価証券利息	—	20,936
受取配当金	33,308	26,461
投資有価証券売却益	5,917	302,009
投資事業組合運用益	—	6,258
貸倒引当金戻入額	540	270
為替差益	51,230	—
その他	12,626	12,712
営業外収益合計	110,061	373,043
営業外費用		
支払利息	48,906	50,040
社債利息	550	—
投資事業組合運用損	8,733	—
為替差損	—	77,118
投資有価証券評価損	38,056	—
その他	4,270	2,010
営業外費用合計	100,517	129,169
経常利益	1,874,796	2,410,507
特別利益		
固定資産売却益	115,360	—
資産除去債務戻入益	5,000	—
特別利益合計	120,360	—
特別損失		
店舗閉鎖損失	14,271	57,130
減損損失	—	1,484
リース解約損	10,542	—
和解金	15,844	—
特別損失合計	40,659	58,614
税金等調整前四半期純利益	1,954,497	2,351,893
法人税、住民税及び事業税	682,786	834,760
過年度法人税等	△66,052	—
法人税等調整額	△75,554	△51,498
法人税等合計	541,179	783,262
四半期純利益	1,413,318	1,568,630
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,413,318	1,568,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,413,318	1,568,630
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△337,340	104,603
退職給付に係る調整額	△1,787	738
その他の包括利益合計	△339,127	105,341
四半期包括利益	1,074,191	1,673,972
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074,191	1,673,972
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年6月28日開催の取締役会及び2023年9月25日開催の取締役会決議に基づき、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式290,800株を取得いたしました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が331,684千円増加し、当第3四半期連結会計期間末における自己株式の額が1,470,798千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	5,939,738	1,176,353	1,075,611	8,191,703	—	8,191,703
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	16,417	—	16,417	△16,417	—
計	5,939,738	1,192,771	1,075,611	8,208,120	△16,417	8,191,703
セグメント利益 又は損失 (△)	1,026,303	814,416	△13,415	1,827,304	37,947	1,865,252

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額37,947千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アート関連 事業	金融サー ビス事業	健康産業 事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	6,169,848	1,207,664	1,019,147	8,396,660	—	8,396,660
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	20,892	—	20,892	△20,892	—
計	6,169,848	1,228,556	1,019,147	8,417,552	△20,892	8,396,660
セグメント利益 又は損失 (△)	1,338,587	860,977	△70,503	2,129,062	37,572	2,166,634

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額37,572千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。